

飛行船と土浦市の歴史

【戦 前】

- 1920年（大正 9年） ○土浦市が飛行船と結ばれるきっかけとなる霞ヶ浦海軍航空隊が設置。
- 1924年（大正13年） ○第一次世界大戦の戦勝品である大型飛行船の格納庫が霞ヶ浦に移築。
- 1929年（昭和4年） ○ツェッペリン伯号（L Z127）が世界一周の途中に飛来。ツェッペリン伯号が着船したのは、日本のみならず、アジアでも霞ヶ浦が唯一の場所であり、土浦市が誇る歴史上の特筆すべき大事件となる。
- 1931年（昭和6年） ○リドバーク夫妻が世界一周の途中に霞ヶ浦を訪れ、航空基地のイメージを世界に発信。
- 1940年（昭和15年） ○土浦航空隊設置。一躍軍都として脚光をあびる。
- 1941年（昭和16年） ○太平洋戦争が始まり予科練は大幅に増強。土浦は「予科練のふるさと」と呼ばれる。

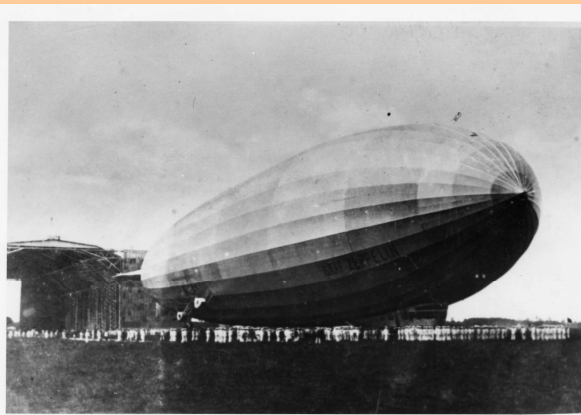
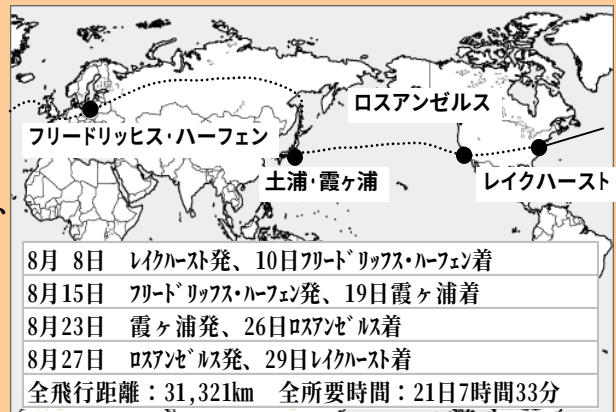
「大空の巨鯨」土浦に飛来

1929年8月、ツェッペリン伯号はアメリカ レイクハーストを出発し、大西洋を飛び越え、故郷ドイツ フリードリッヒス・ハーフェン飛行場に到着。その後シベリアを横断、北海道を南下し、デモンストレーションで東京と横浜上空を旋回後、8月19日午後6時半過ぎ霞ヶ浦飛行場に着船しました。ドイツから約1万1,000kmの行程で、飛行時間は101時間49分でした。

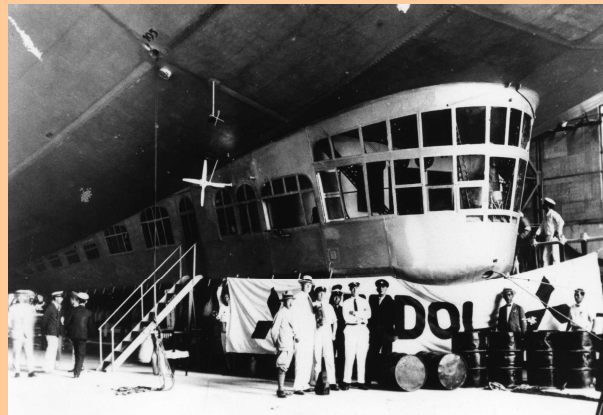
この頃、金融恐慌が世界中へと広がり、我が国でも重苦しい生活を強いられた時代でありましたが、見物客は連日30万人を数えたといわれています。ツェッペリン伯号の寄港は、国内はもちろん東洋初の快挙であり、それを知った土浦の人々の驚きと興奮は如何ばかりであったか、想像を遥かに超えるものであったでしょう。

その後5日間の滞在の後、霞ヶ浦飛行場を8月23日に離陸。ロスアンゼルスを経由し出発地レイクハーストへと、人類初の飛行船による世界一周を成し遂げました。そして、ツェッペリン伯号飛来地となった土浦。霞ヶ浦の名声は世界中を駆け巡りました。

飛行船の時代は次第に性能の高まる飛行機の発達とともに影を薄め、ツェッペリン伯号も1940年4月にフランクフルトの格納庫で解体され生涯を終えましたが、今から80年前、この世紀の大偉業に遭遇した人々は、以来ツェッペリン伯号の思い出を郷土の誇りとして語り継いできました。



ツェッペリン伯号を見送る航空隊関係者
（「むかしの写真 土浦」から）



ツェッペリン伯号のゴンドラ
（「むかしの写真 土浦」から）

【戦 後】

- 1975年（昭和50年） ○ツェッペリン伯号訪日記念碑を建立。
- 1989年（平成元年） ○ツェッペリン伯号霞ヶ浦飛来60周年記念式典を開催。
フリードリッヒスハーフェン市と交流を開始。
- 1991年（平成3年） ○第1回かすみがうらマラソン大会にフリードリッヒスハーフェン市の選手団3名が初参加以降毎年参加。
- 1994年（平成6年） ○フリードリッヒスハーフェン市と「友好関係促進に貢献する宣言書」締結。
- 1996年（平成8年） ○ツェッペリン博物館開館セレモニーへ招待を受け土浦市長出席。
- 2000年（平成12年） ○フリードリッヒスハーフェン市へ市民訪問団を派遣。
- 2001年（平成13年） ○フリードリッヒスハーフェン市主催の第11回国際シティ・フェスティバルへ招待を受ける。
- 2004年（平成16年） ○フリードリッヒスハーフェン市ビュッヘルマイヤー市長がかすみがうらマラソン役員として来浦。
➤(株)日本飛行船がツェッペリン社からツェッペリンNTを購入。
・引渡式に土浦市長が招待される。
- 2005年（平成17年） ○ツェッペリンNT号歓迎式典。
・ドイツ公使、ドイツ観光局長、フリードリッヒスハーフェン市ビュッヘルマイヤー市長列席。
➤ツェッペリンNT号歓迎式典イベントのため飛来。
➤ツェッペリンNT号かすみがうらマラソン大会応援飛来。
➤ツェッペリンNT号土浦全国花火競技大会応援飛来。
○飛行船を活用した地域づくりに係る基礎調査。
- 2006年（平成18年） ○地元の子供達へNT号体験試乗会を開催（土浦商工会議所60周年記念事業）。
➤ツェッペリンNT号体験試乗飛来。
➤ツェッペリンNT号NHK番組収録のため飛来。
○「飛行船のまち・土浦」の実現に関する要望。
・冬柴国土交通大臣に、エアシップタウンつちうら協議会で要望。
- 2008年（平成20年） ○おおつ野地内にツェッペリンNT号緊急避難基地を設置。

【土浦市の友好都市】

飛行船のまち フリードリッヒスハーフェン市



○フリードリッヒスハーフェン市の街並み



土浦市は、ドイツ・フリードリッヒスハーフェン市友好交流都市として、様々な交流や事業を行い、親睦を深めています。ドイツ連邦共和国バーデン・ヴュルテンベルグ州にあり、ドイツ最南部の商・工業都市です。人口は約57,000人で、スイスと国境が近く、風光明媚なボーデン湖のほとりにあり、観光都市としても有名です。

1900年（明治33年）にボーデン湖沿岸にツェッペリン伯飛行船の基地が設置され、同年初飛行に成功したことにより世界的に有名に、20世紀初頭、この町は飛行船製造の一大拠点でした。以来飛行船のまちとして、平成12年には「ツェッペリン伯飛行船初飛来100周年」を迎え、その歴史を伝える「ツェッペリン博物館」が、駅の近くに 있습니다。

1929年（昭和4年）にツェッペリン伯号が世界一周の途中で、日本の霞ヶ浦に飛来した歴史があります。